一般社団法人　福岡県助産師会　　2021 年(令和 3 年)3 月
～つながるいのち　ひと　組織～

ニュースレター No.75

会長挨拶

一般社団法人　福岡県助産師会　　会長　佐藤　香代

助産師の未来をともに創っていきましょう！

新たな年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

昨年は COVID-19 の感染拡大に始まり、助産師会も対応に追われた 1 年でした。私が身を置く教育・研究の世界も様変わりしました。対面からオンラインの講義へ…オンデマンド、リアルタイム、ハイブリッド型と、慣れないテクノロジーを駆使しながら、その都度最適な教育形態を選択していくことが教員には求められます。後期の病院実習も感染状況により中途で変更になることもあり、急遽学内やオンライン実習に切り替えるなど、日々目まぐるしく変化していく状況に対応できるよう、柔軟かつ綿密な準備が必要とされます。教員も鍛えられた 1 年でした。

2019 年の出生数は過去最少の 86 万 5234 人となり、日本中が大きなショックを受けました。しかし、2020 年は 85 万人を割り込む見通しで、コロナ禍で、少子化は加速の一途をたどっています。さらに、分娩後の在院日数も短縮され、母親は育児の技術が身につかないまま、大海に投げ出されたような状況です。身近で子育てを見たことのない世代が、初めての育児を行うことでの孤独感・育児不安感は察するに余りあります。その結果、子どもへの虐待や産後うつ、貧困等の社会的課題が山積しています。しかし、このような厳しい時代だからこそ、状況をどう打開していくのか、助産師自らが考え、行動しなければなりません。母子が安心して暮らせる社会の実現のために、妊産婦を支える仕組みを早急に構築していくことが求められています。今、助産師会では、切れ目のない妊娠・出産・育児支援を展開するため、市町村との連携を密にとり、産後ケア事業の活動を積極的に行っています。母子に寄り添える助産師の存在が何よりも大切だと思うからです。

さて、このニュースレターを手にする頃、助産学生の皆さんは国家試験も終わり、ほっとしていることでしょう。4 月からの新しい環境に胸を膨らませると同時に、初めての育児を行う母親同様、不安がいっぱいだと思います。こんなときだからこそ助産師会に入会し、先輩助産師と交流してみませんか。福岡県助産師会は 1909（明治 42 年）に福岡県産婆会として設立され、なんと今年で 112 年目を迎える伝統ある会です。助産師は他に類のない独自のわざを持ち、それを洗練させていく人です。よって、一生学び続けなければなりません。福岡県助産師会では、今年から「助産道研修」をスタートさせます。助産哲学を基盤にした先輩助産師の智慧やわざを学び、ともに活動していきましょう。私たちは、皆さんの斬新な思考やアイディアを求めています。

助産の道は、どんな苦難があろうとも助産師自らが切り拓いていくのです。だからこそ、楽しい！奥深い！ともに未来を築いていきましょう。熱烈歓迎！お待ちしています。

子育て・女性支援センター事業報告

副会長　豊田　晴子

子育て･女性健康支援センター委員がスタンバイ状態にいるもののコロナ禍で広報活動も出来ず、市町村の両親学級なども中止されている中で、KBC“とっても健康ランド”様より、福岡県助産師会のホームページに、問い合わせがありました。

『オンライン相談がなされているとの情報を得ました。取材をさせてほしい、里帰りから帰って来ても、コロナ禍で面会もできず、パパとして何の心の準備もできていない。せめて「抱き方」「沐浴」心の準備等をオンラインで、教えていただけますでしょうか。』
12 月の子育て相談として開催(12 月 19 日放送)しました。大変喜ばれました。他にも困っていらっしゃるパパもたくさんいらっしゃるのではないかと思います。

コロナ禍で面会もできず､待つのみになっているパパに対する講座の必要性も感じました。赤ちゃんの抱っこの仕方、オムツの替え方一つにしても全く経験のないパパにとっては、ハードルが高いです。それらのスキルを身に付ける事だけでもママの里帰りから帰宅後に夫婦での子育てに良い影響を及ぼすと考えられます。コロナ禍で社会より隔離された夫婦間だからこそ家の状態も窺えるオンライン講座の必要性を感じられます。今後も積極的に進めていきたいと思います。
その後、1 月･2 月とオンラインでのパパ同伴妊産婦向け子育て相談を zoom にて開催し慣れないながらも子育て・女性健康支援センター相談チームは頑張っております。

災害対策委員会より報告・防災訓練

災害対策委員長　西岡あゆみ

令和 3 年 1 月 31 日に、母と子の育児支援ネットワーク代表、災害時の母と子の育児支援共同特別委員会代表としてお母さんや赤ちゃんのために尽力されている、本郷寛子先生に依頼し、「これだけは知りたい！災害時の母と子の支援」というテーマで災害対策研修会を ZOOM で開催いたしました。今回の研修のメインは「災害時のお母さんとのコミュニケーション」ということで、グループワークを中心とした研修となりました。

本郷先生より災害時の適切な授乳支援、授乳支援アセスメントシートの使用方法、液体ミルクの使用方法や紙コップでの授乳方法そして母親とコミュニケーションをとる際の具体的な方法についての講義が行われ、その後、具体的事例に対してのグループワークを行いました。福岡県内外から 45 名が参加し、グループワークにて活発な意見交換を行っていました。講義で聞いたことをロールプレイングで直ぐに実施してみることで、より理解を深めることができ、盛り沢山の内容で、意見交換も楽しく、3 時間があっという間だったというご意見もいただき、大変盛況な研修会となりました。

令和 3 年 2 月 2 日に安否確認訓練を行いました。今回、福岡市を中心に福岡県全域で集中豪雨が起こり、福岡市の河川が氾濫し、浸水被害が起きているという状況設定で行いました。

今回の安否確認では、各地区理事が、LINE、メーリングリスト、ショートメール、電話など様々なツールを使用して行い、災害発生後 72 時間の時点で安否確認達成率は 94.4%でした。また、安否確認と一緒に豪雨災害が起こった際に自宅への被害の可能性があり避難が必要な会員と、ボランティアの要請が出たときに参加いただける会員も確認しました。避難する可能性のある会員が 4 名、ボランティアの要請が出たときに参加いただける会員が 28 名いらっしゃいました。今回の安否確認で、集中豪雨が起こった際に避難する可能性のある会員を地区理事が把握することができたことはとても良かったと思います。また、訓練ではありますが、28 名もの会員の方がボランティアに名乗りをあげていただき、とても心強いと感じました。

自然災害はいつ起こるかわかりません。その中で、実際の災害に備えることはとても重要だと考えます。今後も、福岡県助産師会の災害マニュアルの見直しや、充実した災害対策研修会の開催などを行っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

変化する産後ケア事業

妊娠･出産包括支援特別委員会　委員長　明星 るみ

2019 年母子保健法の一部改正が行われ、出産後 4 ヶ月未満の母子から 1 年を経過しない女子及び乳児へとケアの対象が大きく拡大されました。これに対応して多くの自治体は、産後ケアの対象者を 1 歳未満の母子へと転換していくようです。

しかし、延長したこの 8 ヶ月を、産後ケア実務助産師がどのように対応していくかは、現段階では明確になっていません。
ご存知のように 4 ヶ月から 1 歳にかけての乳児は、「はう、座る、歩く」などの運動機能が著しく発達し、また、離乳食の開始から完了期へと移行する変化の時期となります（離乳食の進み具合やアレルギーへの対応も必須となるでしょう）。保育・養育面からのアプローチも必要かもしれません。

また、母親に対しても、初歩的な育児技術獲得の指導から、より個別性をもった流動的指導（順調な発達を辿っていないと思われる児、育てにくさを感じる児への対応など）が要求されるでしょう。

以上のように考えると、母と子に各々1 人以上のスタッフが必要となり、従来の「1 組の母子に 1 人以上の助産師」では対応が困難です。また、収容する子の活動範囲を考慮しても受託施設の構造面での適応・課題が予測されます。

当委員会では、かねてより産後ケア委託料金見直しについて、多くの自治体と交渉してきました。この度の法改正に伴い、母子に、よりきめ細かで多様なケアが必要とされるにもかかわらず、自治体の委託料金値上げに対する反応は先送り感が否めません。このままでは産後ケアを提供する開業助産師が疲弊してしまい、必要な時に必要なケアを提供することが難しくなってしまいます。

今ここで、当委員会が各自治体への交渉の手を休めることになれば、現行の産後ケア委託料金の据え置きを暗に認めてしまうことに繋がるのではないかと思います。
「お産は、助産師の手で！」「産後ケアは、助産師の手で！」が、広く母子の中に根付いていくように、会員の皆様の強い後押しが必要です。今後とも会の活動をご理解いただき、ご意見・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

研修会報告・案内

教育委員長　篠﨑 克子

先日の福島を震源とする北海道から関東地方の地震被害にあわれた方には、心よりお見舞い申し上げます。

今年度は、COVID-19 感染により、9 月から研修会が開催されました。委員長に就任後、リモート研修の準備に追われ、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ZOOM の操作方法やグループワーク等、初めてのことで試行錯誤の開催となってしまいました。広告の掲載が遅れ、今年度の参加者は 20 名前後と例年より少ない参加となりました。今後は、この反省を活かし、日本助産師会や日本助産評価機構のメーリングリストを活用し、全国から参加者を募りたいと考えております。会員の皆様のニーズを反映した研修会にできますよう、努力していく所存でございます。

来年度は、母子と家族への切れ目のない支援に必要な知識・技術などを盛り込んだ研修会を予定しております。会員の皆様のニーズに応えられる知識・技術の向上に役立てられる研修会を目指します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします

3部会報告

勤務助産師部会長　中村 佳代

勤務助産師部会の活動目標の一つに「助産師同士の連携」があります。今まで 3 部会交流会や研修が日頃別の場所で活躍する助産師との情報交換の場となっていましたが、コロナ禍で研修自体の中止、オンラインへ変更等でなかなか気軽に対面で話す、という機会が減ってしまいました。しかし、オンラインだからこそ遠方の方と交流が持てたり夜勤明けの疲れた素顔でも画像でごまかせたりとメリットも感じます。次年度計画ではオンライン部会集会を数回予定しています。まずは気軽にお話する、を目標に交流を深めたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

保健指導部会長　福田 千鶴

コロナ禍のため、部会員の皆様にはメールでの情報共有がかなり多くなりました。毎日のように情報を発信しておりますが、是非ともお目を通していただきたいと思います。お手数ですが確認された方は返信もよろしくお願い致します。

研修などの情報は、本会だけではなく日本助産師会でも多数発信されております。現地に出向く事なく研修が受講できますので、ご活用をお願い致します。

今期の部会では、内規作成、九州沖縄地区研修会に向けての取り組みを予定しています。より多くの部会員様に参加いただけるようコミュニケーションツールの ZOOM を活用していきます。

どうぞよろしくお願い致します。

助産所部会長　髙﨑 望

コロナの影響で助産所部会が直接会って会議をすることができなくなり、電話会議に変更となりました。前年度以上の出席となり、多くの方との意見交換が活発に行えるようになりました。お産や入院の方がいる合間に出席して頂きましてありがとうございます。

10 月より北九州地区の産後ケア事業が始まりました。従来されているところと、新規に始まるところ、これから始めようとする地区があります。今コロナの影響もあり、不安が多いママ達にとって、産後ケア事業は今まで以上に重要です。利用者が増えれば、問題点や改善点なども出てきます。アウトリーチや宿泊が可能な助産所もあります。助産所部会だけでなく、保健指導部会、勤務部会など様々な方々と情報交換をおこない助産所部会としても活発に取り組み、ママ達に安心感とより良いケアが提供できるように活動していきたいと思っています。今後もよろしくお願い致します。

組織強化委員会報告

組織強化委員長　田中 輝美

助産師会へのお誘い

「そんな事ってあるんですね～」コロナの影響で休止していた、大牟田市内の子育てサロン再開後、そこで出された子ども用おやつの費用を気にするお母さんの感嘆の声です。

福岡県南は、昨年 7 月 6 日に集中豪雨にみまわれました。私の住んでいる地域は 1000 棟が床上浸水を、1500 棟が床下浸水し、サロンにも被害に遭われた母子が来ておられます。《福岡県助産師会に他県の助産師会からお見舞いを頂いたこと、そのお見舞い金をこの地区の助産師会に委ねられたこと、地区の助産師会はこの浸水した地域に使い方を任せてくださったこと、それによりこのサロンで体温計や子ども用のおやつが準備できたこと》を説明しました。「そんな事ってあるんですよ！」と、私もバックボーンに助産師会があることを嬉しく心強く思いました。

福岡県助産師会の活動目標は“つながるいのち、ひと、組織”です。今回のニュースレターは、助産師を目指す学生さんにもお届けしています。女性に寄り添う助産師の働きは一人ではできません。学生の皆さまも、資格取得後は、ぜひ助産師の職能団体「福岡県助産師会」にご入会下さって、つながって学び励まし合って参りましょう。皆さまのご入会をお待ちしています。

安全対策委員会報告

安全対策委員会　髙﨑 望

安全対策委員会の活動としては、本来 8 月に産後ケアに関するトラブルについて研修を行なう予定でしたが、コロナの影響で直接研修ができないことと（ZOOM 会議がまだ不慣れでできなかったことと）私の就任が例年より遅く不慣れなため中止と致しました。大変申し訳ございません。

令和 3 年 2 月 27 日に三部会合同企画の安全管理研修会を開催致しました。Ⅰ部は【新型コロナ感染症対策の実際と課題～コロナ禍における助産師の役割を考える～】というテーマで、感染症指定医療機関である田川市立病院 感染管理認定看護師 植田 裕美子先生より話をして頂きました。Ⅱ部は三部会の助産師同士でコロナ感染が拡大するにつれ助産師として働き、どのような状況であるか情報交換を行い、問題点・改善点・今後の課題について話し合いました。出席していただいた皆様ありがとうございました。

助産師会は三部会とも環境が違います。やり方が違うこともあると思いますが、感染拡大を防止する基本的な方法は同じです。情報交換をしながら感染拡大防止の意識を高め、相手を守ると同時に自分自身を守り、より安全で安心感も提供できる助産師であることに努めていこうと思います。

学校法人福岡保健学院みずまき助産院ひだまりの家

木の香りいっぱいの、身体に優しい助産院です。
あかちゃんとそのご家族が笑顔になれるよう、お手伝いさせて頂きます。

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷 1 丁目 14-50
Tel：093-201-7731 ／ Fax：093-201-7741
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://hidamari-ie.jp　e-mail：jyosanin@hidamari-ie.jp

九州・沖縄地区ブロック研修会

今 伝えよう「ばり楽しかよ！お産と子育て」2021

九州･沖縄地区研修会 実行委員長 椎葉美千代

2021 年 10 月 2 日（土）、10 月 3 日（日）に、テーマ ～今 伝えよう「ばり楽しかよ！お産と子育て」2021～ のもと、福岡県助産師会が主催となり、九州・沖縄地区研修会を開催します。開催方法は WEB と決まりました。当日はライブ配信を行いますが、研修会終了後にもオンデマンドで 14 日間視聴ができるように設定します。インターネットの環境があれば全国から参加できますので、遠方のお知り合いの助産師にもお声かけください。福岡県助産師会が配信する研修会を九州・沖縄地区を中心に全国の助産師に届けたいと考えています。

以下にプログラムを掲載します。気軽に参加し、豊かになってもらえればうれしく思います。また今後は、研修会を運用するために広告掲載や寄付などをお願いすることになります。皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

時代は令和に変わりましたが、いつの時代においてもお産の感動や子育ての喜びを伝えることができる助産師でありたいという思いを、福岡の方言「ばり楽しかよ（とっても楽しいよ）」という言葉で表しました。

今のwithコロナ社会のなかで、改めて助産師の役割も問われています。2021年に開催する今回の研修会は、時代の流れや社会の変化のなかにあっても脈々と続いて変わらない助産の原点について考える機会にしたいと思います。本研修会はWEB開催となりますが、福岡県助産師会一同、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催 一般社団法人 福岡県助産師会
HP：www.jyosanshi.net

期 日 2021年10月2日（土）～10月3日（日）
開催方法 WEB開催（Zoomによるライブ配信）
＊純真学園大学 Medical Learning Center より配信
＊各自ご自宅などからご参加下さい。
＊オンデマンド配信期間（終了後、14日間）
参加費 会員8,000円 非会員12,000円 学生2,000円
申込方法 福岡県助産師会HPおよび研修会ちらしをご覧ください。
問合せ先 E-mail：sshinchi.y@gmail.com（新地）
TEL ： 080-2779-6708（月～金，9：00～17：00）

プログラム 10月2日（土）

9:30	9:50～10:40	10:50～12:20		12:50～14:20	14:30～16:00
開会式	【会長講演】 日本助産師会 会長 島田真理恵	糖尿病を持つ女性の妊娠・出産を支える助産 久留米大学医学部看護学科 教授 田中佳代	休憩	自然なお産を支える助産 助産院 町のさんばさん 川野敦子	親力向上と家族機能の発達 ～親になり、楽しみながら、成長する～ 法政大学キャリアデザイン学部 教授 斎藤嘉孝

10月3日（日）

9:30～11:00	11:10～13:10		13:30～14:20	14:30～16:00	16:10
豊かなお産を見据えた思春期女性の身体と心のケア 久留米大学小児科 准教授 永光信一郎	産後ケアに活かそう！母乳育児支援 ～それぞれの助産師の立場から～ 三茶助産院 桶谷式母乳育児相談室 武市洋美 母と子のサロンLactea～ラクテア 古賀ひとみ	休憩	三部会	【公開講座】 乳幼児の発達と電子メディアの影響 ～周産期から予防啓発を～ 九州医療センター小児科部長 佐藤和夫	閉会式

※プログラムは変更になることがあります。

マタニティスクール報告

福岡市委託事業･マタニティスクール責任者　篠崎　克子

今年度のマタニティスクールは、新型コロナウィルス感染拡大防止から 2020 年 4 月～5 月の開催が中止となりました。6 月から開催になりましたが、3 密を避けるため、参加人数を 4 組に絞り開催して参りました。新型コロナウィルス感染拡大予防のためマザークラスが中止になっている施設が多く、参加者からは「ここで色々と聞くことができて良かった」と好評を得ております。その後も、第 2 波、第 3 波の感染が押し寄せましたが、福岡市に確認を取りながら、これまでより一層の感染対策を取り、現在まで開催を続行しております。

参加者から好評を得ておりますのは、助産の専門的な知識・技術の提供と経験豊富な教育を実践されている執務者の方々のご協力があったからと考えています。しかし、1 回のマタニティスクールを 3 名の助産師で行うため、執務登録者が不足しております。現在、日当やお弁当の改善に取り組んでおります。是非、会員の皆様の執務のご登録をご協力いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

COVID-19 対応　～ワクチン早期接種について～

書記　阿部　聖子

緊急事態宣言が続く中、医療従事者を対象としたワクチン接種が始まりました。
この優先接種となる医療従事者の中に、初め助産所は入っていませんでした。そこで、日本助産師会から、助産所助産師等へのワクチン早期接種について、看護系の国会議員を通して要望書が提出されました。最初は難航していたようですが、継続的な要望の結果、助産所助産師等も早期の優先接種対象となりました。

この決定を受け、県から当会に優先接種予定者名簿の提出依頼がありました。接種対象は、助産所従事者となりますので、当会会員のみならず、患者と直接接するスタッフも含め、現在、接種希望者を取りまとめているところです。

このニュースレターが皆様のお手元に届くころには、助産所助産師の優先接種も始まっているでしょう。どの職場においても、助産師は基本的に人と接する仕事だと思います。
万全な感染予防対策をとりつつ、COVID-19 に負けない身体を作っていきましょう！

特集：コロナ奮闘記　　第２回「コロナ第2波」

会計　山口美津技

前回に続き私の勤務する北九州市立医療センターにおける新型コロナウィルスとの闘いについてご紹介します。

昨年５月中旬、緊急事態宣言の後、北九州市は新型コロナウィルス感染流行第２波を経験しました。

当センターでは１病棟を閉鎖、コロナ感染病床数を増やし助産師も２名が交代で感染病棟へ応援に行きました。感染拡大と共に防護服やマスクが品薄となり、防護服の代用としてビニールのレインコートを使用、N95 マスクの上から不織布マスクを着用し、N95 マスクは１日１枚と節約しました。ゴールの見えない毎日、様々な方々から物資や食品など温かいご支援をいただきました。また、近隣のホテルからは、コロナ対応で残業や帰宅できない時は格安でホテルに宿泊できるように配慮していただきました。

そんな矢先、感染病棟にコロナ陽性疑いの経産婦が入院し分娩となりました。このような事態を想定して準備はしていましたが、慣れない空間と高温多湿な防護服に N95 マスク、陰圧室に何時間も閉じこもりケアをするのは経験豊富な助産師でも大変だったそうです。その後、北九州市は無症状でも全ての濃厚接触者の検査を行っていった結果、第２波の封じ込めに成功しました。この頃から、当センターでも 24 時間体制で抗原検査ができるようになりました。

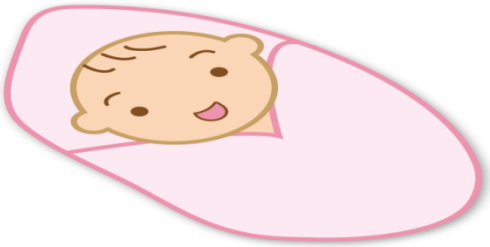
抗原検査は結果が出るまで 40 分程度です。母子分離される事は、ほぼなくなりました。それまでは検査結果が出るまで最低でも半日、土日院外に委託する PCR 検査については最高３日間母子分離することもありました。赤ちゃんはパパに会えないどころか、ママにも抱っこしてもらえません。ある時は部屋の入口まで赤ちゃんを連れていき、遠目ですがママに見せると、ママは泣いていました。

この頃、お寄せ頂いた「患者様からの声」には、『お産後すぐに赤ちゃんを抱っこできなくて出産した気がしない』『実感が湧かない』などの声がありました。外来妊婦さんの不安も大きく、家族の面会や分娩立ち会いができないと説明すると泣き出す妊婦さんもおられました。そこで、若い助産師が中心となり妊婦さん応援 DVD を作成し妊婦健診の待ち時間に観てもらいました。たったそれだけでも妊婦さんたちは喜んでくれたそうです。私達助産師も辛くもどかしい時期だったと記憶しています。もちろんいくら、検査体制が整っても、面会禁止は変わりません。

そこで、ついにLINEビデオ電話やSkypeを利用したリモート立ち合い分娩が始まりました。

iPad を使用し産婦の見ている画面には、応援するご家族が映っています。ご家族の画面には頑張っているママが映っています。これに関しては「瓢箪から駒」でした。当センターはコロナ前から感染予防策として中学生以下の子供さんの面会はお断りしていたのですが、このリモート立ち合いでは夫のみならず、子供さんやご両親も立ち合いが、できるようになったからです。産婦さんとそのご家族からは好評でした。私達スタッフも初めは不慣れで設定方法やON/OFFのタイミングに戸惑ったり、iPadの位置がずれていたこともありましたが、段々上手くなりました。

新型コロナウィルスには困ったものですが、このリモート面会のように、新たなツールを活用し自宅に居ながらにして学会や研修に参加できるなど、思わぬ副産物もありました。これからも、母子にとって良いことは積極的にやっていきたいですね。（つづく）



会計よりお願い

会計担当　山口美津枝

　次年度の会費納入時期となりました。
口座振替の方は令和 3 年 2 月 24 日（水）に引き落とされます。
もし、残高不足があれば令和 3 年 3 月 23 日再引き落としとなります。
今一度、通帳残高をご確認ください。

　なお、来年度より福岡県助産師会の年会費は 1 万円です。
日本助産師会の年会費と合わせ**合計 25,000 円**となりますので、ご注意ください。
口座振替未手続きの会員様も 3 月末までに、助産師会の口座に年会費 **25,000 円**を納入くださいますようお願いいたします。
2020 年度の会費未納の会員様で、2 年分の会費を納入される方は山口までメールでお知らせください。
注）日本助産師会では 2020 年度の会費を納入されていない方は今年度で自然退会とみなされます。

★　会費振込先

【ゆうちょから】
記号: 17400　　番号: 56401481

【他金融機関から】
店名:七四八（読みナナヨンハチ）店番:748　預金種目:普通預金
番号:5640148

口座名義:一般社団法人福岡県助産師会

また、ご承知の通り日本助産師会から
「●日本助産師会主催オンデマンド研修・未納者の会員様について
機関誌へも案内を送付させていただきましたが、オンデマンド研修にお申込みの方で 2021 年度会費を令和 3 年 3 月 31 日迄に納入いただけない場合は一度、非会員区分へ変更させていただき動画視聴に制限がかかります。」とお知らせがきております。

会費納入を、うっかり忘れて困らない様に口座振替の手続きをお願いいたします。
山口にメールをいただけたら、口座振替依頼書をお送りいたします。

E-mail　3enyanko@gmail.com　　会計　山口美津技

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

・●● 産科用品の自動販売機 ●●・

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用していただけます。

GLORY
汎用販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます

投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます

外形寸法:(W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

SEBE 企画・発売元
セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目11-11 TEL(092)472-4316

産褥社（胎盤処理）

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL：092-581-6588

代表：村上　士朗

65th Anniversary

水と、空気と、睡眠と。
TUK東洋羽毛

Lumone

暖かさに
包まれる
贅沢なひととき。

GOOD DESIGN

羽毛足首ウォーマー 冷えは女性の大敵！

皆様に愛されて
24万4,568個※

◇いつでも ◇どこでも ◇どんな季節も

※2018年2月現在

東洋羽毛九州販売株式会社
福岡営業所　0120-104557
鹿児島営業所 0120-881125
長崎営業所 0120-104203
熊本営業所 0120-382808
宮崎営業所 0120-104039

編集後記

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記のＱＲコードより福岡県助産師会 HP 入会案内のページにお入りください。

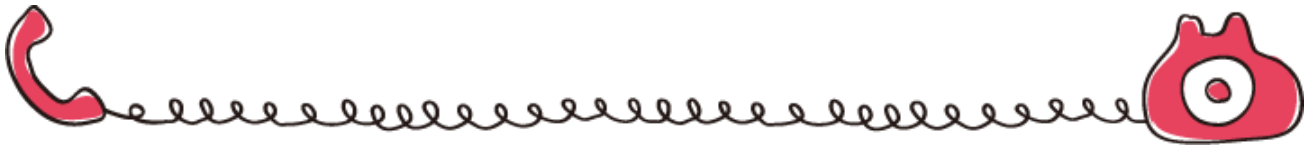
または、下記へ連絡をお願い致します。

福岡県助産師会入会案内

福岡県助産師会 HP

福岡県助産師会 会計
〒８０７－１１３４
住所：北九州市八幡西区茶屋の原４丁目１－１２
氏名：山口美津枝
電話：０９０－９６０７－３３３１
アドレス　3enyanko@gmail.com

ひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。



【編集後記】

ニュースレターに『こんな記事載せてほしい！』などご意見ありましたらお知らせください。

広報委員　松山・後藤・髙橋愛・益永・阪本・髙橋春

一般社団法人 福岡県助産師会ニュースレター 第 75 号　2021 年 3 月
発行人　一般社団法人　福岡県助産師会　会長　佐藤　香代
〒810-0014　福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41
電話・ＦＡＸ　092-521-2025　http://www.fukuokajyosanshi.com